

認知症に関する活動計画(概要)

愛媛県作業療法士会では、2017年度より認知症地域支援部門を立ち上げている。認知症地域支援事業として、東予・中予・南予地区別に部員をそれぞれ配置し、県内各市町村や関連団体より依頼を受け、認知症サポーター養成講座や、介護予防事業等へ出向き、作業療法士として地域支援に資する活動を行っている。今後も、部員の増員を図り、様々な領域で期待される役割にこたえられる作業療法士の養成を目指していく。

認知症地域支援事業

2019年度に「三浦保」愛基金の助成を受けて、認知症予防・啓発を目的とした「えひめカンカン体操」DVDを作成した。そして、愛媛県下全ての社会福祉協議会・地域包括支援センター、県士会員へDVDを配布し、説明会を行っている。また、2023年度には認知症予防に関するリーフレットも作成した。

当部門では、市町村からの依頼に応じて、介護予防事業や出前講座等にスタッフを派遣している。地域で活動する際には、認知症予防啓発を行うと共に、DVDの説明やリーフレットの配布もしながら、認知症予防の1つの手段となるよう啓発活動も行っている。昨年度は、ショッピングモールの一角をお借りし、公開講座も開催した。認知機能バランサーの体験、えひめカンカン体操DVDの紹介、認知症相談コーナーを通して、市民の方に対し、作業療法士について、また認知症について知っていただく機会を設けた。



認知症に関する研修など

認知症に対する理解の推進を図り、どの領域でも期待される役割に応えられる作業療法士の養成を目的に、愛媛県作業療法士会では、県内の作業療法士、言語聴覚士、理学療法士からなる愛媛県リハビリテーション専門職協会と共催し、認知症アップデート研修を開催している。今年度も実施予定であり、BPSDの理解、臨床に役立つ知識の整理等を中心に基礎的な内容の統一を図っている。